

93. COVID-19に関するレジストリ研究

研究の概要

2019年12月から中国の武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が確認されました。新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)には確立された治療法はありませんが、重症例を中心に抗ウイルス薬などの薬剤が投与されはじめています。どのような方が重症化しやすいか、妊婦や小児の患者さんなどにおいてどのような経過をたどるのかなど、多くのことがまだわかっていません。そこでCOVID-19に対するファビピラビルなどの治療候補薬の試験的投与に関する効果や安全性について検討します。

研究の目的と方法

この研究では、COVID-19 と診断された方に参加していただき、重症化する方の特徴や経過、治療候補薬投与後の経過などを調査し、COVID-19に関する様々な点について明らかにすることを目的としています。

本研究の参加について

研究への参加を希望されない場合、その方の情報を研究における解析に利用することはありません。ただし、COVID-19は新規の指定感染症であることから、社会的・公衆衛生的に重要であるため、原則として全ての患者さんの情報をこの研究のデータベースには登録させていただきます。研究に参加される場合でもされない場合でも、患者さん個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。本研究に参加されたくない方は、データ登録を拒否して頂くことができます。その場合は、当院研究責任者へご連絡ください。

調査する内容

対象期間中に記録された診療情報(症状、基礎疾患、渡航歴、接触歴、症状の商品等)・ウイルス検査結果などを、研究に使用させていただきます。使用に際しては、文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。データ収集にあたり、研究対象者(患者さん)の個人情報(氏名、住所、電話番号、カルテ番号など)は記載せず、対応表を作成して管理します。

調査期間

研究対象期間：当院倫理委員会承認日～西暦2023年1月31日

研究成果の発表

調査した患者さまのデータは、個人情報を厳重に保護した形で研究代表者に提供し、集団として分析された後に学会や論文

研究代表者

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 大曲貴夫

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 小児科 水上智之

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 小児科 水上智之

TEL: 096-353-6501